

広域流域関係都道府県における関連事業の整備状況

広域流域	関係都道府県	関連事業の整備状況 (関係都道府県における森林整備の方針等)	備考
網走・湧別川	北海道	<ul style="list-style-type: none"> ○ 森林資源の循環利用の推進（川上から川下に至る一体的な取組の推進） ○ 森林の整備の推進及び保全の確保（適切な森林管理体制の構築、資源の充実に向けた計画的な森林の整備、多様で健全な森林の育成・保全、事前防災・減災に向けた治山対策の推進） ○ 林業の健全な発展（森林施業の低コスト化及び生産性の向上、林業事業体の育成、人材の育成・確保） ○ 木材産業等の健全な発展（地域材の利用の促進、木材産業の競争力の強化、特用林産物の生産の振興） 	・北海道森林づくり基本計画（平成29年3月改定）
馬淵川	青森県	<ul style="list-style-type: none"> ○ 森林の持つ多面的機能の発揮、林業の持続的かつ健全な発展、県産材の安定供給と利用の確保、山村地域の活性化を推進 <ul style="list-style-type: none"> ・林業採算性向上・再造林確保プロジェクト（森林施業の集約化と経営委託の促進、作業の低コスト化の促進、再造林に係る取組の支援） ・県産材安定生産・流通プロジェクト（木材生産の効率化推進、木材加工体制の強化、県産材利用の促進） ・森林資源活用促進プロジェクト（森の恵みの積極活用、観光や健康分野へのアプローチ、地域内での木質バイオマスのエネルギー利用拡大） 	・青森県森林・林業基本方針（平成28年3月）
	岩手県	<ul style="list-style-type: none"> ○ 森林地域の土地利用については、「国土水源保全森林」、「生態系保全森林」、「生活環境保全森林」、「資源循環利用森林」の本県独自の4区分により、森林の有する多面的な機能を将来にわたり高度に発揮させるため、発揮を期待する機能に応じた施策を実施するとともに、地域の実情に応じた多様で健全な森林の整備と保全を図る。 ○ 特に、森林の持つ二酸化炭素の吸収・固定機能に対する期待が高まってきていることから、森林の利用と保全を両立させた森林経営への取組を推進。 ○ 保安林については、国土保全、水源涵養、生活環境の保全等の諸機能の積極的な維持増進を図るべきものであることから、適正な管理を行う。 	・岩手県土地利用基本計画書（平成30年3月）

広域流域関係都道府県における関連事業の整備状況

広域流域	関係都道府県	関連事業の整備状況 (関係都道府県における森林整備の方針等)	備考
阿武隈川	宮城県	<ul style="list-style-type: none"> ○ 林業・木材産業の一層の産業力強化 <ul style="list-style-type: none"> ・県産木材の生産流通改革 ・県産木材の需要創出とシェア拡大 ・持続可能な林業経営の推進 ○ 森林の持つ多面的機能のさらなる発揮 <ul style="list-style-type: none"> ・資源の循環利用を通じた森林の整備 ・多様性に富む健全な森林づくりの推進 ・自然災害に強い県土の保全対策 ○ 森林、林業・木材産業を支える地域や人材の育成 <ul style="list-style-type: none"> ・持続的成長をけん引する経営体や担い手の育成 ・地域・産業間の連携による地域産業の育成 ・新たな森林、林業・木材産業関連技術の開発・改良 ・森林、林業・木材産業に対する県民理解の醸成 ○ 東日本大震災からの復興と発展 <ul style="list-style-type: none"> ・海岸防災林の再生と特用林産物の復興 ・地域資源をフル活用した震災復興と発展 	<p>・みやぎ森と緑の県民条例基本計画～新みやぎ森林・林業の将来ビジョン～（平成30年3月）</p>
	福島県	<ul style="list-style-type: none"> ○ 森林資源の充実・確保 <ul style="list-style-type: none"> ・森林計画制度の推進 ・放射性物質に汚染された森林の再生 ・森林資源の適正な管理 ・優良種苗の供給体制の整備 ○ 林業生産基盤の整備 <ul style="list-style-type: none"> ・林内路網の整備 ・県産材の安定供給体制の整備 ○ 県産林産物の振興 <ul style="list-style-type: none"> ・県産材の利用促進 ・特用林産物の振興 ○ 林業担い手の確保・育成 <ul style="list-style-type: none"> ・被災した林業者・木材産業事業者への支援 ・林業就業者の確保・育成 ・森林組合等林業事業者の経営基盤強化 ・林業後継者等の育成 ・労働安全衛生対策の推進 ○ 試験研究と技術の普及・定着 <ul style="list-style-type: none"> ・放射性物質対策に関する技術開発 ・林業技術の試験研究・普及・定着 ○ 林業関係団体との連携 	<p>・福島県農林水産業振興計画「ふくしま農林水産業新生プラン」（平成25年3月）</p>

広域流域関係都道府県における関連事業の整備状況

広域流域	関係都道府県	関連事業の整備状況 (関係都道府県における森林整備の方針等)	備考
相模川	神奈川県	<p>かながわ森林再生50年構想を踏まえて、森林の区分や、区分ごとの目指す姿を設定するとともに、次の3つの基本的な考え方により、50年の長期的な展望の下に森林づくりを進めていくこととする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 広葉樹林の再生 <ul style="list-style-type: none"> ・丹沢大山の高標高域の自然林は、ニホンジカによる下草や低木の過度の採食を防ぎつつ、後継樹を育成し、多様な樹種による原生的な自然林に誘導 ・放置されている山地や里山など中低標高域の二次林は、主として抜き伐りと天然下種更新により多様な樹種の自然林に誘導 ・土壌流出の著しい溪畔林は、必要に応じて広葉樹を植栽 ○ 人工林から混交林への転換 <ul style="list-style-type: none"> ・林道から200 m以上離れたスギ・ヒノキの人工林は、主として間伐・抜き伐りと天然下種更新により、混交林や巨木林に誘導。ただし、急傾斜地や天然下種更新による広葉樹の導入が困難な人工林にあっては広葉樹を植栽 ○ 人工林の再生 <ul style="list-style-type: none"> ・林道から200 m以内のスギ・ヒノキの人工林は、間伐による木材利用を積極的に進めるほか、伐採後は、花粉の少ないスギ・ヒノキや今後実用化する無花粉スギを植栽し、複層林などに誘導 	<ul style="list-style-type: none"> ・神奈川県森林計画書（平成30年4月）
	山梨県	<ul style="list-style-type: none"> ○材：森林資源の循環利用を担う木材産業の活性化と持続可能な林業経営の実現 <ul style="list-style-type: none"> ・新技術の進展等を契機とした県産材の需要拡大 ・施業集約化、路網整備、構成の林業機械の導入等による生産性の向上 ・森林、林業、木材産業を支える担い手の確保、育成 ○エネルギー：木質バイオマスの有効利用による再生可能エネルギーの利用促進 <ul style="list-style-type: none"> ・木材資源のエネルギー利用の促進 ・木質バイオマスの安定供給体制の確立 ・地域密着型の利用、供給システムの推進 ○場：豊かな森林を活用した多様な交流・機会の創出と新たな事業の展開 <ul style="list-style-type: none"> ・森林空間を活用した都市住民との交流や機会の創出 ・地域資源や特産林産物等を活かした地域活性化と新たな事業の創出 ・健全な森林づくりや山地保全対策の推進、事前防災・減災対策の強化 	<ul style="list-style-type: none"> ・やまなし森林・林業振興ビジョン～森林資源の有効活用による成長産業化の実現を目指して～（平成27年12月）

広域流域関係都道府県における関連事業の整備状況

広域流域	関係都道府県	関連事業の整備状況 (関係都道府県における森林整備の方針等)	備考
	長野県	<ul style="list-style-type: none"> ○みんなの暮らしを守る森林づくり <ul style="list-style-type: none"> ・実効性のある森林計画制度の確立 ・適切な主伐・更新施業の促進 ・計画的な間伐の推進 ・災害に強い森林づくり ○木を活かした力強い産業づくり <ul style="list-style-type: none"> ・林業経営団地の設定及び林内路網整備等の推進 ・担い手対策の推進 ・県産材の生産加工流通体制整備の推進 ・様々な用途での県産材需要の拡大 ○森林を支える豊かな地域づくり <ul style="list-style-type: none"> ・地域主体の森林経営・森林資源の活用・交流促進 ・野生鳥獣被害対策の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・長野県森林づくりアクションプラン（平成23年7月）
木曾川	岐阜県	<ul style="list-style-type: none"> ○「100年先の森林づくり」：100年先を視野に入れた、地域毎に望ましい森林の姿を示す「100年の森林づくり計画（森林配置計画）」を策定し、これを実現していくための施策を推し進める。 <ul style="list-style-type: none"> ・計画の策定 ・計画に基づいた森林づくりの実践 ・計画に必要な人づくりの推進 ・地震・豪雨から県民の生命・財産を守るための災害に強い森林づくりの推進 ○「生きた森林づくり」：世界水準の高度な林業技術の導入により「林業の成長産業化」を進め、「木の国・山の国」にふさわしい林業の振興を推し進める。 <ul style="list-style-type: none"> ・人口減少社会を見据えた県産材の国内外への需要拡大 ・多種多様な木材需要に対応した木材流通体制の強化 ・海外と連携した高度な木材生産体制の強化 ○「恵みの森林づくり」：清流の源である「森林」を守り、活かし、次世代に引き継いでいくための取組みを通じ、「清流の国ぎふ」の環境の保全・活用を推し進める。 <ul style="list-style-type: none"> ・地産地消型木質バイオマスエネルギー関連施設の整備・利用の促進 ・「ぎふ木育」の総合拠点整備と指導者育成 ・恵みの森を支える人づくりの促進 	<ul style="list-style-type: none"> ・第3期岐阜県森林づくり基本計画（平成29年3月）
	愛知県	<ul style="list-style-type: none"> ○ 木材生産量の増大 <ul style="list-style-type: none"> ・新たな木材生産システムによる生産性の向上 ・主伐や植栽、獣害対策を一貫して行う施業を推進 ・森林施業の集約化と路網整備を推進 ○ 生産を担う人材の確保・育成 <ul style="list-style-type: none"> ・新規就業者の確保と高度な知識、技能を有する林業技術者の育成を推進 ・木材生産を担う林業事業者の経営基盤強化 ○ 効率的な流通・加工体制の強化 <ul style="list-style-type: none"> ・品質や性能の明確な製材品を安定して供給できる木材流通加工体制の強化 ○ 県産木材の利用促進 <ul style="list-style-type: none"> ・住宅関連イベント等におけるPRを実施 ・住宅や公共施設などにおける利用促進 	<ul style="list-style-type: none"> ・「食と緑の基本計画2020」～食と緑が支える豊かな「あいち」をめざして～（平成28年3月）

広域流域関係都道府県における関連事業の整備状況

広域流域	関係都道府県	関連事業の整備状況 (関係都道府県における森林整備の方針等)	備考
	奈良県	<ul style="list-style-type: none"> ○ 豊富な森林資源を県産材製品として流通させることにより、川下から川上までの経済循環を活発にして、適正な森林づくりと地域産業の活性化、雇用の創出などを旨とする。 ○ 林業・木材産業振興に向けた取り組み <ul style="list-style-type: none"> ・川上（山側） 集約化・団地化による利用間伐の推進など、森林施業を拡大 素材生産基盤の強化や担い手の育成などにより、素材生産力を拡大 <ul style="list-style-type: none"> ・川中（製材・加工・流通） A材（建築用材）・B材（集成材ラミナ、合板用材）・C材（パルプ、チップ用材）毎の受け皿の確保と、競争力のある製材・加工・流通体制の構築 <ul style="list-style-type: none"> ・川下（マーケット） 県産材製品の販路開拓及び多用途での利用拡大 	<ul style="list-style-type: none"> ・奈良県林業・木材産業振興プラン（平成27年7月）
紀ノ川	和歌山県	<ul style="list-style-type: none"> ○ 適正な森林管理 <ul style="list-style-type: none"> ・循環型林業の促進（経済林）（伐採と植栽の一貫システムの推進、花粉症対策苗木の増産） ・森林所有者による手入れが困難な森林の保全（環境林）（「企業の森」の推進、「紀の国森づくり基金」による切捨間伐） ・貴重な森林の継承（環境林）（新紀州御留林） ○ 素材生産体制の強化 <ul style="list-style-type: none"> ・素材生産業者の販売力強化（加工事業者の参画、協業（水平・垂直）による生産販売→直送販売ルートの複線化） ・基盤整備の推進（林道・作業道等の整備、高性能林業機械の配備） ・素材生産業者への森林情報の提供（林地台帳の整備、森林情報の精度向上） ・優秀な人材の育成・確保（農林大学校での人材育成、経営者の労務管理意識の改革、新規起業者への支援） ○ 素材流通体制の強化 <ul style="list-style-type: none"> ・木材市場の機能強化（現地選別の推進、川上・川下の需給マッチング、需給データベースの構築） ・選別技術者の育成（農林大学校における技術研修、林業事業者におけるOJT研修） ○ 紀州材加工販売体制の強化 <ul style="list-style-type: none"> ・加工事業者の生産・販売力強化（高品質材市場の開拓（高質材）、「紀州材ブランド」を活用した販売促進（並材[直材]）、集成材・合板工場等への供給（並材[小曲・軽度な虫食材]）、木質バイオマス発電施設等への供給（低質材）） ・公共建築物等への紀州材利用拡大（公共建築物などの木造・木質化を推進） 	<ul style="list-style-type: none"> ・和歌山県森林・林業総合戦略～新・紀州林業への挑戦～（平成29年7月）

広域流域関係都道府県における関連事業の整備状況

広域流域	関係都道府県	関連事業の整備状況 (関係都道府県における森林整備の方針等)	備考
芦田・佐波川	広島県	<ul style="list-style-type: none"> ○ 主伐・再造林の促進 <ul style="list-style-type: none"> ・林業経営適地の特定 ・林業経営適地の集積・集約化 ・効率的かつ計画的な木材生産の構築 ・経営サイクルの収支の改善及び計画的な再造林の促進 ・シカ被害対策 ・採種園・採穂園の整備 ○ 現場技能者の確保・育成 <ul style="list-style-type: none"> ・新規就業者の確保 ・就業者の育成 ・就業条件の改善 ○ 安定的な生産体制の構築 <ul style="list-style-type: none"> ・現場に応じた作業システムの確立による生産の効率化 ・高性能林業機械の導入促進 ○ 効率的な流通・加工体制の構築 <ul style="list-style-type: none"> ・安定的な出荷量の確保による有利販売 ・共同出荷によるコスト縮減 ○ 生産量の増加に応じた需要の確保 <ul style="list-style-type: none"> ・木造建築物（住宅、非住宅）への県産材利用の推進（直材・小曲材の需要確保） ・新たな需要先（梱包材工場、発電所）への安定供給、曲材の需要開拓 	<ul style="list-style-type: none"> ・ひろしま未来チャレンジビジョン農林水産業アクションプログラム（第Ⅱ期）（平成30年3月）
	山口県	<ul style="list-style-type: none"> ○ 林業の成長産業化に向けた取組強化 <ul style="list-style-type: none"> ・低コストで生産性の高い素材生産力の強化（森林整備加速化団地（県下21箇所）を核とした取組・集約化、路網整備、機械化、人材育成→低コスト素材生産システムの構築） ・計画的、安定的な原木供給体制の構築（原木流通拠点の整備・機能強化、製材工場・合板工場・木質バイオマス発電施設の需要動向の把握、安定取引協定の拡充・強化等によるネットワークの構築） ・ICTを活用した新たな林業経営モデルの開発実証（情報の集約と共有（森林資源、木材生産計画・労務管理、需給動向等）→各種情報をリアルタイムに把握できる「森林クラウドシステム」の構築） ○ 森林資源の循環利用と多面的機能の維持・発揮 <ul style="list-style-type: none"> ・皆伐→再造林の促進（伐採者と造林者の連携強化、低コスト再造林システムの構築） 	<ul style="list-style-type: none"> ・森林・林業活力強化プロジェクト（平成27年3月）

広域流域関係都道府県における関連事業の整備状況

広域流域	関係都道府県	関連事業の整備状況 (関係都道府県における森林整備の方針等)	備考
遠賀・大野川	福岡県	<ul style="list-style-type: none"> ○ 林業 <ul style="list-style-type: none"> ・人工林は、経営が成り立つものと経営が困難なものに分けて、施策を展開 ・経営が成り立つ人工林では、森林資源の循環利用により、森林の世代サイクルの回復を図り、持続可能な林業経営を確立 ・経営が困難な人工林では、森林の持つ多面的機能の持続的な発揮に向けて、健全な森林づくりを推進 ○ 木材産業 <ul style="list-style-type: none"> ・非住宅や再生可能エネルギーなどの多様な分野において、県産木材の利用を拡大 ・木材の流通・加工コストの縮減や、住宅メーカー等が求める曲がりや割れが少ない品質の確かな製材品の供給力を強化 ○ 特用林産物等 <ul style="list-style-type: none"> ・主要な特用林産物等は、需要に応じた供給体制の整備やコスト縮減に向けた取組などにより、産地の競争力を強化 	<ul style="list-style-type: none"> ・福岡県農林水産振興基本計画（平成29年3月）
	大分県	<ul style="list-style-type: none"> ○ 環境を守る森林整備 <ul style="list-style-type: none"> ・保安林の指定・整備（きめ細かい保安林の指定を行うとともに、指定された保安林の適正な施業の指導を強化し、保安林機能の資質向上を図る） ・森林の公益的機能発揮のための整備（間伐の遅れや再造林の放棄によって公益的機能が低下している森林において、強度間伐や再造林を実施し早期に森林の機能回復を図る、自然条件や地域特性に応じた長伐期施業・複層林化・広葉樹林化など多様な森林づくりを推進、豪雨災害等で被災した経験から災害に強い森林づくりに取り組む） ・里山林等の保全・整備（行政・住民・森林所有者・森林ボランティア等との連携・協力の下で保全と利用を一体的に推進） 	<ul style="list-style-type: none"> ・第5次大分県緑化基本計画（平成25年3月）
川内・肝属川	鹿児島県	<ul style="list-style-type: none"> ○ 森林の整備・保全の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・多様で健全な森林づくりの推進 ・安心・安全な県土づくりの推進 ・森林による二酸化炭素吸収源対策の推進 ・県民参加の森林づくりの推進 ○ 担い手づくりと林業経営対策 <ul style="list-style-type: none"> ・林業担い手の育成・確保 ・効率的・安定的な林業経営の基盤づくり ・山村地域の活性化 ○ 木材の供給・利用対策 <ul style="list-style-type: none"> ・木材産業の競争力の強化 ・かごしま材の利用拡大 ・木質資源の有効活用の促進 ○ 特用林産物の産地づくり ○ 技術開発と普及 <ul style="list-style-type: none"> ・新たな技術開発の推進 ・人材育成のための研修等の充実 ・林業普及指導の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・森林・林業振興施策の概要（平成30年4月）